

危険物 仮貯蔵
仮取扱い 実施計画書（例）

年　月　日

住所

届出者 氏名

電話

仮貯蔵（仮取扱い）の目的		震災等により被災した建物において、長時間にわたり停電した場合に、発電機への燃料補給を行うことを目的とし、屋内の危険物施設等での一時的な貯蔵、ドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属製携行缶からサービスタンクへの注油を行い、当該建物の電力を確保するため。			
仮貯蔵（仮取扱い）品名及び数量		第四類第2石油類（軽油） ○○リットル			
申請場所	地名 地番				
	管理者 氏名				
	敷地及び周囲の状況	別紙のとおり			
仮貯蔵及び仮取扱いに使用する建築物、工作物又は施設の状況	屋内	敷地面積	屋外	敷地面積	
		建築面積		空地	その他
		構造			
危険物の貯蔵、容器、及び取扱い、管理の状況		<ol style="list-style-type: none"> 1 200リットルの金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する。 2 貯蔵場所の通風・換気を確保する。 3 詰替えを行う場合は、貯蔵場所から離れた場所に確保する。 4 詰替えは通風・換気の確保された場所で行う。 5 標識・掲示板を設置し、関係者に次の事項について注意喚起を行う。（「危険物仮貯蔵、仮取扱い所」「品名・数量・倍数」「火気厳禁」） 6 転倒防止のため、集積したドラム缶をロープ等で支持物に固定する。 7 室内への出入り管理及び使用時以外の施錠管理を徹底し、いたずら・盜難を防止する。 8 作業前と作業後に点検を実施し、その結果を記録する。 			
安全対策		<ol style="list-style-type: none"> 1 ドラム本体、詰替えに使用するドラムポンプ及び金属製携行缶のアースを確保する。 2 吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。 3 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。 4 危険物を取り扱う者は、静電安全靴を使用する。 			
消防設備		第5種消火設備 粉末消火器○本			
危険物取扱者		住所	氏名		
その他必要事項		金属製携行缶による注油は、この場所以外で行わない。			

別図
仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（ドラム缶等による燃料等の貯蔵、ドラム缶等から運搬容器への燃料等の小分け、ドラム缶等からタンクへの燃料等の注油の安全対策の例）

